

経営比較分析表（平成30年度決算）

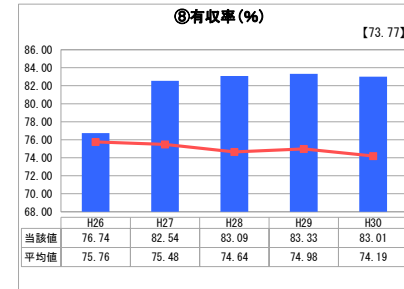
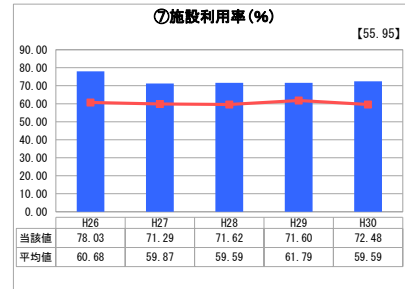
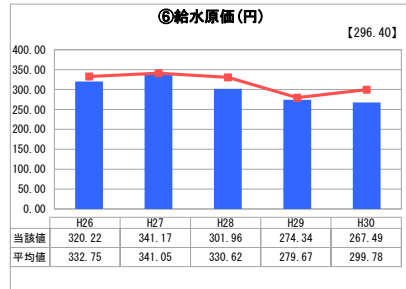
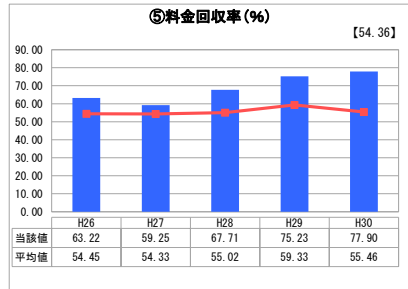
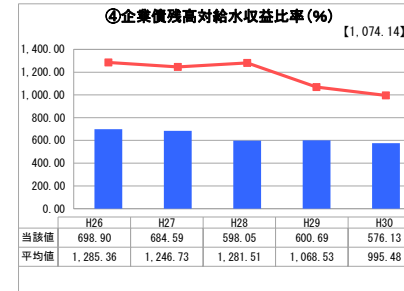
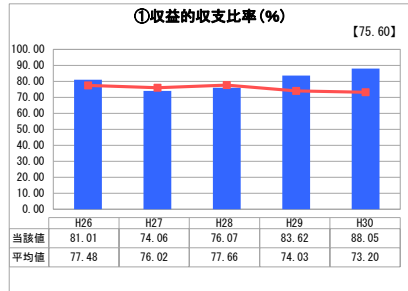
兵庫県 佐用町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり定額料金(円)	
-	該当数値なし	99.95	3,402	

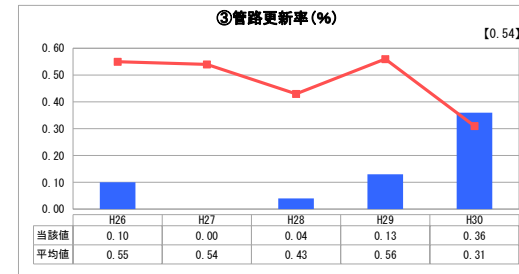
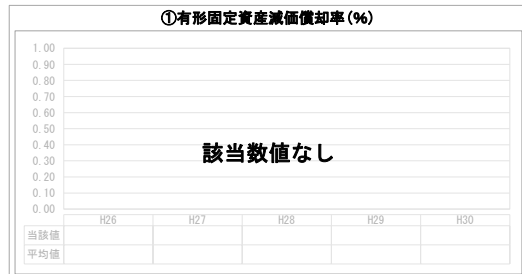
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,973	307.44	55.21
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,781	44.00	290.48

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は平均値・昨年度の数値よりは、やや高くなってはいるものの、今後、維持管理の節減や料金回収を強化していく必要がある。
 ④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較しても低い。これは新規発行の企業債が減少しているためであるが、今後、老朽化した管路更新に応じ増加していくと思われる。
 ⑤料金回収率は平均値よりも高く、近年増加傾向だが、一般会計からの財源に依存しているのが現状である。
 ⑥給水原価は昨年度よりやや低いが、今後、料金回収率や住民サービス向上のため、維持管理の削減等の経営改善の検討を行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在のところ、管路移設等に管路更新を行っているのが現状である。アセットマネジメントの策定、事業統合等を踏まえて更新計画を検討していく必要がある。また、漏水事故が多い箇所については、先行して更新を図っていく。

全体総括

山間地という不利な立地条件のため住居が点在しており、送水にかかるコストが、都市部などの人口密度が高い地域に比べて割高になるのは避けられないといった状況である。少子高齢化及び人口減少が進むなか、一般会計の繰入に依存せざるを得ないのが現状である。
 今後は、施設及び管路の更新に向けた計画を検討し効果的かつ効果的な更新を行う必要がある。また、経営戦略の策定により、長期的な視野のもと、計画的な経営に取り組み経営改善に努める。